高石
回答

エアコンの修理は市教委の責任ではない

全ての支援学級に エアコンは 必要と認識している 【高石市教育委員会・回答】

昨年十一月二十二日、泉北教組は、職場から寄せられた「要求アンケート」をもとにした「教育要求書」に基づく交渉（一回目・障害児教育部の交渉を含む）、高石教育委員会と行いました。（いくつかの回答を掲載します。詳細は後日掲載）

要求

すべての教室にエアコンを設置すること。特にすべての支援学級への設置を急ぐこと。
未設置の特別教室への設置を速やかに行うこと。
さらに、空調設備の補修や総合的なメンテナンス等については、特別な予算を組むなど教育委員会の責任で実施すること。

【文書での回答（要旨）】
・平成23年8月に全小学校の普通教室及び音楽室にエアコンを設置。
・すべての支援学級については、今後の課題。
・クラス増に伴うエアコン設置は実施
・部分的な修繕は学校配当予算で対応。一括予算での対応が必要なものについては、今後の課題。

エアコンの必要な修理については、今後も教育委員会の責任で行っていく。
今年度支援学級の
エアコン設置率

【小学校】	64%
【中学校】	77%
今年度のエアコン修理数	
【小学校】	合計 2教室
【中学校】	合計 10教室

教職員の長時間労働解消の今後の取り組みの1つとして、
夏期休業中の
学校閉庁を
検討している

支援関係で 前向きな回答

同時に行われました「障害児教育部」（支援関係）の交渉では、参加者から切実な声や要求が寄せられました。
交渉では、前向きな回答がありました。

【文書での回答（一部）】

介助員の増員が難しい中、学校生活ボランティアを今年度より1名増員した。

【交渉等での追加の回答】

介助員や支援ボランティアの増員を財政部局に要望している。

「1人学級」も含む種別学級設置を、教育委員会としても努力している。

【交渉等での追加の回答】
すべての支援学級にエアコンは必要と認識している。
今後もエアコン修理等が増える見込みと考える。予算獲得に向け努力していく。
今後、エアコン設置の計画を立てる方向である。
教育委員会としても「第一は子ども」という観点でしっかり考えていく。
クラス増に伴う新たなエアコン設置については、市教委としても受け止める。

【文書での回答（要旨）】

財政状況から、市費負担での教員増は困難。
今後も適切な機会に府や国に対して早期実施については、働きかけを行う。

【交渉等での追加の回答】

少人数学級の必要性については認識している。
市としては、15時間の非常勤講師を小中学校6校に

「まなびんぐティーチャー」として配置している。
「普通学級での41人以上の状況を何とかしてほしい」との要望は、教育委員会としても理解できる。
大阪府都市教職員人事担当課長会の一番の要望が35人以下学級である。